

3-2 進路計画の発表

自己理解 進路計画

1. 題材設定の理由

3年生もこの時期になると、卒業後の進路を具体的に考えなければならないという意識が深まり、家庭での進路に関わる話し合いも多くなる。反面、テストや目先のことにこだわって、よりよい進路計画を立てられない生徒が多い。そこでこの時期の生徒に、将来に向けての生活設計について考えさせ、自らの意志と努力で、自己の進路を選択することの大切さに気づかせたいと考える。

そこで、お互いの進路計画を発表し、意見を交流させることで、自分の進路計画の見直しをしようとする態度を育てたいと考えた。

2. 指導のねらい

自分の考えている進路を互いに交流させる中で、進路選択の条件を十分に踏まえて、進路計画を立てることの大切さを理解させ、自らの意志と責任において進路選択を行おうとする態度を育てる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・P.44の②に記入させ、提出させる。 ・将来つきたい職業や希望を集計しておく。 ・希望進路がはっきりしている生徒に進路計画の発表の準備をさせる。
本時	・進路計画を立てることの大切さを知り、今後の努力点を明確にする。
事後	・進路計画を立てていく中で、困っている、不安であるという生徒と懇談を行う。

<説話例> 「道は一つだけではない」

3年生もこの時期になると、現実の壁に突きあたって悩んだり、テストの結果などに悲観的になったりする人が出てきます。しかし、「未来への道は一つだけではない」のです。描いた自分の将来の生き方につながる道はいくつもあるはずです。多少遠回りの道も、時には脇道に立ち寄ってみることも人生です。

もし、今考えている目標が、現状ではどうしても無理

だというなら、軌道修正する勇気も必要です。軌道を変えたからといってそれで落伍者になるわけではないのです。自分の可能性に見切りをつけて、あきらめてしまう人のことを落伍者というのであって、遠回りでも、目標をもって、その時を精いっぱい過ごしていくのはりっぱな生き方なのです。回り道をしたおかげで、新たな自分の能力を発見したり、思わぬ近道を発見したりすること、人生にはよくあります。

今の自分を正面から見つめ直し、目標に向けてこつこつと努力していくことを大切にしていきましょう。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・仲間の進路希望を聞くを通して、進路について考える。 ・Mさんの進路計画を参考に進路計画を立てることができる。	◎進路希望の集計結果を見て感想を交流する。 ・高校進学希望者が多い。 ・希望の仕事がはっきりしている人がいてすばらしい。 ◎中学校卒業後の進路計画を立てる。	・進路希望の調査結果をグラフ等にまとめておく。 ・自分の現在の進路の見直しを書かせる。	・P.44①、② ・進路希望の調査結果のグラフ ・P.45③ 計画Ⅰ
課題：進路選択の条件を踏まえながら進路計画を立てよう。				
中心的活动	・進路計画を立てる上で大切なことを理解することができる。	◎仲間の進路計画を聞いて、自分の進路計画と比べて、考えさせられたことや教えられたことを交流する。 ・家族とよく話し合いができています。 ・興味ははっきりしている。 ・将来の夢の実現のためにどんな勉強が必要なのか、よく調べてある。 ・進路先のことをよく調べてある。 ◎進路計画を立てる上で大切なことをまとめ、発表する。 ・将来の進路計画の確認をする。 ・自分について知る。 ・進路先を十分調べる。 ・家族と話し合う。 ・通学時間や通学に関わる費用を調べる。 ◎自分の進路計画を見直す。 ・資格が必要になってくる職業もある。	・班で進路計画を交流した後、学級全体で交流させる。	
まとめの活動	・自分の課題を明確にし、今後改善すべきことをまとめることができる。	◎今日の学習から、今後自分がやるべきこと、努力すべきことは何かをまとめる。 学習面…… ・英語を重点的に学習する。 ・学習計画を立てて毎日取り組む。 生活面…… ・言葉遣いを丁寧にする。 ・時間を大切にし、遅刻をしない。 ・誰にでも元気なあいさつをする。 その他…… ・毎日体力づくりをする。 ・ピアノの練習をする。 ◎仲間の進路計画から学んだことを書こう。	・自分の課題を明らかにし、具体的な内容を書かせる。	・P.45④
			・『生きる』を集める。	・P.45⑤